

南無阿弥陀仏は
私のいのち

平成30年
3月号

NO.
482

え
し
お

3

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobiiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



ほどこ 施し合う生活

先日テレビを見てみると、コーヒーのCMが流れていた。別々の仕事をしている中で、実は全ての仕事がつながっていた、という趣旨のもので、別々であっても、どこかで社会となつて和している。いわれてみれば当たり前のことではあるが、CMを見る度に、日常の中で周りを見ずに生活している私に気付かせてもらえる。

普段、私たち僧侶が身につけている法衣に、袈裟けさというものがある。今は鮮やかな色の袈裟が多いが、元々はインドの、ある生活の苦しい仏弟子が、仏法を聴聞させてもらったかわりに、精一杯の気持ちを含めた古布を僧侶に施した。そして僧侶がその古布を縫い合わせて作ったものが袈裟であり、その施しが今のお布施の元なのだそう。

施しといっても袈裟だけではない。私が当然のように暮らしている日々は、善いことも悪いことも、全て何かしらの施しによって成り立っている。その施された一日一日に頭も下げず、我が物のようにして過ごしている。そんな私にまでもいのちが施され、今が施されているのだ。

その施されている生活に目が覚めた時、初めて私の仕事しごとが、常につながりの中で成り立つものとして見直される。そして、「青色青光しやうしやうしやうくわう、黄色黄光わうしやうわうくわう、赤色赤光しやくしやくしやくくわう、白色白光びやくびやくびやくくわう」と、いつも年忌のご法事でお勤めする『仏説阿弥陀經ぶつせつあみだきやう』にある通り、その人がその人のまま輝く世界が開かれるのではないだろうか。何でも同じに統一するのではなく、善悪の分別を超えて違ふままに和合していく、互いに施し合う世界を、これからの未来に手渡していく。それが私たちのすべきことだと感じる。

(仲井 真裕 記)



ひがんえ しょうとくたいし ほうさんえ
春季彼岸会・聖徳太子奉讃会のご案内
 さしむけふきょう
(本山差向布教)



『欲の鬼 怒りの鬼 愚痴の鬼 私の心に いつもいる』

2月の節分が過ぎ、すぐに3月春彼岸をお迎え致します。

今年の春季お彼岸は、3月18日(日)彼岸入り・21日(祝)お中日・

24日(土)お結願、の日取りになります。

お彼岸は、日本独特の仏教行事です。此岸(今生きているこの世界)から「極楽浄土(真実土)、

即ち彼岸に生まれること」を願う(欣求浄土)ことが始まりであります。

それには仏道修行(布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧)が求められますが、

この私にはどれ一つも無理であります。

「なむあみだぶつ」は、結局のところ自分を知ることなのでしょう。

下駄でぎこちなく 此の岸をあるいて知る

私の罪悪深重 仏恩の深遠

「常照此岸」(榎本栄一氏)

西徳寺は例年の如く、下記の通り春季彼岸会・聖徳太子奉讃会を、

本山よりお差し向けの御布教使をお招きしてお勤め致します。

ご家族そろってお参り下さいますよう、

おとき(お食事)も準備してお待ち致しております。



平成30年3月22日(木)

- ・午前10時 春季彼岸会・永代経法要 お勤め・法話
- ・午前11時30分 合唱団「エコー」演奏会
- ・正午 お齋とき
- ・午後1時30分 聖徳太子奉讃会 お勤め・法話

本山差向布教 布教使 木村俊尚師 (新潟市 梵行寺住職)

◎おときの準備のため、**3月15日までにハガキ**にてお申し込みください。

なお恐縮でございますが、法要執行のため**ご懇志の上納**を宜しくお願い致します。



親鸞さんのことば

釈迦如来かくれまして

二千余年になりたまう

正像の二時はおわりにき

如来の遺弟悲泣せよ

『正像末和讃』

松井憲一

科学文明が発達し、豊かさで便利さによって私たちは、この世を明るく楽しく謳歌しているように見えま
す。しかし、一方では大人が担うよう
な介護や家事をする子どもがおり、
大阪の高校生では5%もいるそう
す(大阪・歯科大調査)。調査をされ
た濱島准教授は「学校がない日には
8時間以上ケアをしている生徒もい
る。ヤングケアラーの存在を社会で
認識し、支援策を講じるべきだ」とい
われます。

「選挙でね こんな日本に なつ
たのよ」ですから、共同責任です。だ
から、「初詣 祈るは孫の 住む時
代」の人々も多かったのでしょうか。に
もかかわらず、自分中心の幸せを願

って「おみくじを 3つ引いたら
大中小」になり、「引き取りは 遺産
OK 遺骨NO」と歩んでいけば
「金貯めて いるうち寿命 底をつ
き」ということに終わるのでしよう。
この空しい妄想の連鎖を破るに
は、お釈迦さまの教えに遇う道しか
ありません。しかし、今は「釈迦如来
かくれまして 二千余年にな
りたまう」、お釈迦さまが亡くな
られて二千年余りになっている。
「正像の二時はおわりにき」、教えを
受け行じ証する人のあつた正法の
時代と、教えと行ずる人はいるが証
する人がなくなつた像法の時代の
二つの時期は終わつてしまつた
末法の時である。それで、「如来の
遺弟悲泣せよ」、残された如来の弟
子のわたしは、悲泣するしかありま
せんといわれます。

「如来の遺弟悲泣せよ」の「遺弟」
には、「ミデシナリ」、「悲泣」には「カ
ナシミ、ナクベシトナリ」と左仮名
をつけられますから、お釈迦さまの
み弟子として救われる身になりた
いという叫びです。「悲泣せよ」は、
悲観や落胆に終わることはありません
せん。プラスという字はマイナスの
字から書きはじめるように、お釈迦
様のみ弟子として、さどることので

きない末法に生きる身(マイナス)
に悲しみ泣きながら、お釈迦様の本
意(プラス)に遇いたいというチャ
ンスにしたい深意があるのです。
冒頭に挙げた「和讃は、『正像末
和讃』の二首目ですが、四首目には、
「正像末の三時には 弥陀の本願ひ
るまれり 像季末法のこの世には
諸善竜宮にいりたまう」とありま
す。末法に生まれたおかげで弥陀の
本願に遇うことができた。本願に遇
つてみれば、本願のひろまる末法に
生まれたことは、かたじけないこと
といわれるのです。本願念仏の教え
は、末法だけでなく、「正像末の三時
には 弥陀の本願ひるまれり」と、
正像末の三時にわたつて、お釈迦さ
まの時代と同じように正しい教え
として伝承していることに遇え
たと。

「像季末法のこの世には、「像季」
とは「ソウホウノ、スエ」と左仮名さ
れますから像法の時代の末、「末法」
は末法の時代です。そして、像法の
時代や末法の時代の実体は「諸善龍
宮にいりたまう」といわれます。こ
れについては、「シヤクソンノ、ミノ
リハ、ミナリユウグウヘ、イリマシ
マスナリ」と左仮名されますから、
お釈迦さまの説かれた諸々のよき



教えが龍宮に入つてしまつて、われ
らの救われたいという関心から離れ
て、それに気づかないようになって
しまつたといわれるのです。
こうして教法がすがたをかくした
けれど、本願のお念仏のお法りだけ
は、煩惱の身に目覚めさせて必ず救
うと、末法の世に輝きわたつてく
ださるご和讃が続きます。そして、聖人
は最後の五十九首目で、「如来大悲の
恩徳は 身を粉にしても報ずべし
師主知識の恩徳も ほねをくだきて
も謝すべし」と、身を挙げてお念仏に
遇えた喜びを報謝されますが、わた
したちは、感動して「恩徳讃」を斉唱
したことがあるのでしょうか。

山門の言葉

「伝説のメダリストのことば」

『努力はウソをつく でもムダにはならない』

はにゆう ゆづる
羽生 結弦

(フィギュアスケート選手)



以前の記者会見で彼は、「努力は必ず報われるというが、あれはウソだ」、そして上の言葉を続けた。

ピョンチャン五輪での彼の活躍は、皆が大喝采した。あわせてこのコメントも大好きな言葉と受けた人も多い。

「一生懸命頑張ったのに・・・」「死にも狂いの努力をしたのに・・・」世の中、結果が伴わないことばかり。「神も仏もないものか」「こんな筈ではなかったのに」「努力はウソをつく」こんな思いばかりしてきた私。自暴自棄になった私。「挫折・挑戦そして・・・」。

その時、彼の声が聞こえてくる。「でもムダにはならない」と。結果如何にかかわらず、流した汗と涙がムダではなかったと言える人生をいきる事を、教えてくれているのだろう。

「西徳寺 一代墓地」新設置のご案内

1. 一代墓地使用冥加金 ￥100万（標準一代墓地専用墓石費をふくむ）
（別途費用で、注文墓石も可能です）

【内訳】

使用料 ￥50万 / 墓地管理料 ￥15万（10年分）
維持会費 ￥5万（10年分） / 永代供養廟納骨料 ￥30万（一体につき）

2. 一代墓地設置基数 10基（外墓地 一号地）

3. 使用期間 10年間（更新可 最長20年）

4. 永代使用墓地への切替 一代墓地の契約後又は更新後に「永代使用墓地」
「蓮華堂」に変換することができます。
（冥加金￥250万より）

5. その他 詳細については、一代墓地契約書によります。

※詳しいことや個別事情についてはお気軽にお問い合わせ下さい。
（☆一号地内に見本の「一代墓地」を設置しておりますのでご参考下さい。）





第341号

婦人会専用口座：
名義 西徳寺婦人会
番号 10030 239 82431

婦人会新年会報告

1月7日11時より、本堂にて山田副会長の司会進行のもと、西徳寺婦人会の新年会が開催されました。社会長の挨拶では、「今年も皆さんと共に聞法して参りたい」と抱負を語られました。

引き続き脇阪住職は挨拶の中で、「西徳寺にはたくさんの聞法会があるが、この婦人会は文字通り、西徳寺の中心となる会であり、皆さんの大きなお支えによって寺が維持されていることは本当にありがたい」と感謝の意を表されました。

大谷最高顧問からは、「暮らしの中の仏教をテーマに、日々の生活から私たちは何をよびかけられているのかを、聞法会を通して皆様と共に学んでいきたい」と力強い言葉をかけていただきました。

新年会終了後、場所を梅檀の間に移し懇親会となりました。今年は参加された会員さん全員に自己紹介をしてもらいました。その中では、歌を唱う方もおられて大変盛り上がり、最後は「早春賦」を皆さんと合唱し、大盛況の内にお開きとなりました。(蓮井 邦宗)

婦人会総会・懇親会のご案内

日時 平成30年4月18日(水) 午前11時
場所 総会～西徳寺本堂 懇親会～梅檀の間



次回聞法会のご案内

日時 平成30年5月16日(水) 午後1時30分～

場所 西徳寺 星月の間

法話 法語カレンダーに聞く

「かの如来の本願力を観ずるに 凡愚遇うて空しく過ぐるものなし」(入出二門偈頌)

最高顧問 大谷 義博

蓮井 邦宗

ひとこと

毎年息子がクリスマスプレゼントに、年末ジャンボ宝くじをくれます。いつものことながら、のんびり年が明けて暇なときに番号を調べました。調べているうちに「アレ、何コレ」、6桁の番号が全部合っているではないですか。何度見ても間違いありません。まさか、まさか……。残念ながら組違いでハズレでした。

6個の数字が並んで合うとは妙な気持ちです。未練たらしくハズレくじをお守りにすることにしました。(太田 愛子)

婦人会員募集

婦人会では新会員の募集をしております。ご婦人の方で興味のある方ならどなたでも結構です。是非一度ご参加ください。

年会費納入のお願い

当婦人会は会員の皆様の会費によって運営されております。年会費(3,000円)の納入を、何卒よろしくお願ひ致します。



掲示板

平成30年 3月

3日(土) 午後2時 評議員会定例役員会
午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習

7日(水) 午前10時 仏具磨き

10日(土) 午後1時半 定例聞法会

11日(日) 午後2時 城北ブロック会聞法会
(王子・北とぴあ)

13日(火) 午後2時 東京教区研修会
(新横浜グレースホテル)

14日(水) 午後1時半 婦人会聞法会

17日(土) 午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習

18日(日)～24日(土) 春季彼岸会

22日(木) 午前10時 聖徳太子奉讃会・
差向布教・永代経法要
布教使 木村俊尚師

30日(金) 午後1時半 『歎異抄』に聞く
講師 宗正元師

31日(土) 午後5時45分 同行会修習式

えこお志お礼

| | |
|-----|----------|
| 葛飾区 | 宮崎 秀夫 様 |
| 台東区 | 小林 浩子 様 |
| 文京区 | 官林 以智子 様 |
| 荒川区 | 内免 隆一 様 |
| 千葉市 | 窪澤 仁 様 |
| 草加市 | 代田 勝子 様 |
| 北区 | 高橋 昭子 様 |
| 台東区 | 大林 藤枝 様 |

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

日誌

1月13日 混声合唱団「エコー」練習

1月18日 責任役員会

1月20日 定例聞法会

1月21日 評議員会新年会(伊豆栄本店)

1月22日 台東区合唱連盟 新年会(浅草・大黒屋 高橋参加)

1月25日 『歎異抄』に聞く 講師 宗正元師

1月27日・28日 宗祖忌

1月27日 混声合唱団「エコー」練習
同行会新年会(参加者9名)

1月30日 教区新年会(脇阪住職・大谷顧問参加)

1月31日 仏教青年会「歎異抄」に聞く 講師 宗正元師

2月4日 城東ブロック会聞法会(平井・はなの舞 参加者19名)

2月5日～9日 本山・第十一次聞法推進員養成研修会(高橋・仲井参加)

2月6日 責任役員会・総代会

2月7日・8日 中興忌

編集後記

平成19年1月、伊豆・修善寺でのご葬儀にご縁をいただいたことがありました。温泉宿に宿泊して御親戚とも親しくさせていただき、帰りの電車も同席するなど、とても有難い仏縁でした。

あれから11年の歳月が経ち、今度はそのご親戚がお寺で葬儀を営まれたのですが、お目にかかってもすぐには気づかず、大変失礼なことでありました。私にとっては数多くの中の一檀家さんであっても、その方からすれば唯一無二の菩提寺だということにもっと責任を持たなければいけないと痛感しました。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス：

 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。
(メールでも結構です)

 saitokuji@ce.wakwak.com